

(別紙2)

第21期(平成25年度)事業計画及び収支計画書

有限会社 豊田あぐりサービス

下関市豊田町大字八道601番地3

第 21 期 事 業 計 画 書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

1. 計画の概要

平成 22 年から 24 年の民主党政権下で、新たに「コメ戸別所得政策」や米粉などの他用途米の推進、農業の「6次産業化政策」が推し進められました。しかしながら平成 23 年 3 月 11 日の「東日本大震災」による農業への甚大な被害により食料自給率は 2 ポイント低下し、農地の荒廃はもとより新規就農者も年々減少し続け、農家の減少、高齢化は歯止めをかけることはできません。

下関市においては、2010 年農林業センサスでは 5 年間に農家数・基幹的農業者・農家人口は 10% 以上減少しており、特に基幹的農業者は市平均 6% 程度であるが豊田町は 18% 近い減少が見られます。自給的農家は増加。反面、営農組合や農業生産法人による農業経営体は年々増加傾向にあり、現在 37 法人（豊田：5 法人）が設立、農業経営を行っており、今後、益々「営農組織化」が進むものと思われます。

耕作放棄地の状況は、平成 23 年の 24.4 ha から 25 年には 28.5 ha で 2.7% 増加しています。

こうした状況の中で、当社として、稲作などの作業受託の伸びは期待できないため、営農組織では困難と思われる普通作物の防除、特色あるライスセンターの有効活用を中心に活動を展開したいと思います。

指定管理施設の管理運営については、国・県の補助事業により整備されたことから、運営に制限が多く、時代に沿った管理運営が難しい状況であり、また、施設が 10 年以上経過しておりトラブルも多く、円滑な管理・運営が難しい状況に差し掛かっています。

しかしながら、生産、販売、労務等努力不足も否めないことも多く、今後、各部門ごとの経営・労務管理等、総合的に経営の改善に向けて努力してまいります。

以下、各部門について今年度の取り組み計画をお示しします。

2. 各部門の計画

(1) 一般管理

- ① 昨年の反省を踏まえ、人事配置、人員構成を再検討し作業の平準化と効率的な作業体制の確保に努めます。
- ② コスト意識を徹底して、資材・機械等の購入・修理、業務の委託等について、競争原理を基本に進めます。

- ③人件費についても一定の能力主義を取り入れてまいりたい。具体的には各部門それぞれに年度計画の策定を求め、年度末にその効果を評価し反映します。
- ④農畜産物生産、農業機械の効率的な利用と管理など、農業経営に必要な技術習得のため「農の雇用事業」を実施、特に新規従業員の農業技術の向上に努めます。
- ⑤従業員間・各部門間の連絡を密にし、各情報を共有するとともに、「報告・連絡・相談」(ほうれんそう)を徹底し、組織の在り方と、責任感の醸成に努めます。
- ⑥ホームページを活用し、広告宣伝費を縮減するとともに、みのりの丘での活動・情報・魅力をきめ細かく発信します。

(2) 公園管理

- ①気持ちよく公園で家族が遊び、自然と触れ合えるよう、年次計画の基に遊具や花木・花の植栽、整備を行うとともにPRに努めます。
- ②定期的に除草、剪定を行います。
- ③トイレの清掃徹底と施設の安全点検を行います。
- ④動物とのふれあい方法を検討します。

(3) 農作業受託

- ①稲作について、豊田地域に限定することなく、近隣地域の作業受託について関係機関、団体を通じて農家の意向を把握し、積極的に作業受託を行う体制づくりに努めます。特に、ライスセンターについて作業受託の拡大に努めます。
- ②大豆作については収穫・乾燥調製作業がメインですが、黒大豆について受託料金の見直しを含めて検討します。また、乾燥調製について効率化を図るため、循環式乾燥機で対応可能か関係機関・メーカーと調整します。収穫作業は他の秋作業と競合するため、適期刈取り作業体制の事前調整を十分に行います。
- ③ソバも収穫・乾燥調製作業が中心ですが、食彩館、体験業務でも収穫物を活用することから、みのりの丘での栽培を含め作業受託も積極的に対応いたします。

(4) 玉ねぎ

- ①収穫については、みのりの丘分は「収穫体験」を中心に行うが、収穫調整機を導入(H22)したことから、作業受託を積極的に行えるよう関係機関・団体と十分調整します。作付については昨年と同様といたします。

(5) 無人ヘリコプター農薬散布

- ①7月までに修理を完了させ、最新の注意のもと、昨年実績以上の散布に努めます。
- ②オペレーター2名を育成し、チーム防除に努めます。
- ③無人ヘリコプター更新方法を検討します。

(6) 堆肥製造販売

- ①畜産農家の減少とともに家畜糞尿の搬入が減少しつつあり、原料確保のため関係機関・団体と協議し、営業活動を行います。

②良質堆肥づくりに努め、堆肥利用についても効能・利用方法を示しPRに努めます。

(7) ライスセンター

- ①米の利用率は79%であり、関係団体と事前調整を行い搬入の平準化を進めます。
- ②作業受託部門と連携し、大豆の乾燥調整について受託拡大を進めます。

(8) 温室ハウス

①サラダホウレンソウ

- ・周年栽培が可能であり、生産量の増加に努めるとともに、安定的で有利な販路開拓を進めます。
- ・サラダだけでなく他の調理にも利用可能な品種も模索・研究を行います。

②トマト

- ・人気品種の「フルーツトマト」の栽培技術を確立し、生産量の増加に努めるとともに、ブランド化など有利販売の方法も研究します。

③イチゴ

- ・県推奨品種「かおり野」を新たに導入し、年内出荷により有利販売を図るとともに、収穫期間の拡大、収量の増加、商品率の向上に努めます。
- ・関係機関・団体と連携し、定期的に育苗技術、栽培管理技術検討会を開催するなど生産技術の向上を図ります。
- ・商品化できないイチゴの有効活用についても検討を進めます。

(9) 果樹

①なし

- ・4月の雹により、傷果が多く発生し、また、寒さにより花芽分化が少なく、今後の成育推移をみて対応を検討します。

②ぶどう

- ・平成22年の大雪の被害の後遺症が残っており、今年の収穫は望めそうもないので、樹勢の回復に努め、場合によっては植え替えを行います。

③桃・すもも・ブルーベリー

- ・桃、すももは木が大きくなっており、十分な管理により昨年以上の収穫を目指します。また、カラスや他の鳥類対策を十分に行います。
- ・ブルーベリーは木が小さく、安定した生産は望めませんが、食彩館と連携し有効活用いたします。

(10) 地域食材供給施設

- ①平成24年度に「みのりの丘ジビエセンター」がオープンしたことにより、新たな食材、加工品の開発に積極的に取り組み、新たな集客に努めます。

(11) 精米・製粉施設

- ①リピーターの確保と新規依頼者の確保のため、依頼者の反応を十分に把握し利用者の要望に沿えるよう一層努力します。

(1 2) 加工体験・都市農村交流

- ①体験メニューの開発と、PRに努め一層の農業体験者の拡大に努力します。
- ②長期滞在施設の補修完成を踏まえ、早期に募集を行います。また、長期・短期の施設利用についても検討します。
- ③体験者を増やすため、体験メニューとともに、体験料の見直しについて検討します。

(1 3) 肉用牛繁殖育成施設

- ①各生育段階での飼料について、種類、量、配合割合など飼料給餌について再検討し、それを基に計画的な飼料確保に努めます。
- ②各牛の登記書・履歴を整理し、飼養管理の基本データを集積します。
- ③畜舎の清掃に努め、定期的に清掃・保存飼料の管理を行います。
- ④各成牛の繁殖計画を作成し、効率的な受精・受胎に努め、計画出荷を行います。
- ⑤採草・放牧地を再整備し、効率的に利用します。

第21期 収支予算内訳書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：円)

部門別	収入			支出		
	前年度予算額	本年度予算額	摘要	前年度予算額	本年度予算額	摘要
一般管理	10,300,000	9,200,000		22,300,000	22,000,000	
指定管理業務		6,468,000	指定管理料 6,466,000 施設利用料等 2,000		7,700,000	指定管理経費 7,700,000
自主事業		2,732,000	補助金等 2,732,000		14,300,000	人件費等 14,300,000
農作業受託	12,000,000	16,500,000		7,000,000	14,100,000	
指定管理業務						
自主事業		16,500,000	水稲作業 9,300,000 大豆等作業 7,200,000		14,100,000	水稲経費 3,600,000 大豆等経費 10,500,000
無人ヘリ農薬散布	92,000,000	100,500,000		86,000,000	92,000,000	
指定管理業務						
自主事業		100,500,000	農薬散布作業 100,500,000		92,000,000	農薬散布経費 92,000,000
堆肥製造販売	4,500,000	4,200,000		2,500,000	3,000,000	
指定管理業務		320,000	指定管理料 200,000 施設利用料 120,000		300,000	指定管理経費 300,000
自主事業		3,880,000	堆肥販売等 3,880,000		2,700,000	堆肥製造等経費 2,700,000
ライスセンター	9,000,000	9,100,000		5,000,000	5,900,000	
指定管理業務		6,400,000	施設利用料 6,400,000		3,100,000	指定管理経費 3,100,000
自主事業		2,700,000	運搬・資材費等 2,700,000		2,800,000	運搬・資材費等 2,800,000
温室ハウス	10,000,000	12,000,000		13,500,000	14,000,000	
指定管理業務						
自主事業		12,000,000	サラダホウレン草 12,000,000 イチゴ・トマト		14,000,000	農産物生産経費 14,000,000
果樹	6,500,000	7,200,000		4,500,000	7,500,000	
指定管理業務						
自主事業		7,200,000	梨・ブドウ等 7,200,000		7,500,000	農産物生産経費 7,500,000
地域食材供給施設	30,000,000	38,000,000		26,000,000	33,600,000	
指定管理業務					200,000	指定管理経費 200,000
自主事業		38,000,000	竹膳 15,000,000 物販 23,000,000		33,400,000	竹膳経費 12,600,000 物販経費 20,800,000
精米・製粉施設	1,500,000	1,900,000		2,500,000	1,800,000	
指定管理業務		1,900,000	指定管理料 400,000 施設利用料 1,500,000		1,800,000	指定管理経費 1,800,000
自主事業						
体験・都市農村交流	5,000,000	6,100,000		6,000,000	6,400,000	
指定管理業務		4,600,000	指定管理料 2,100,000 施設利用料等 2,500,000		4,500,000	指定管理経費 4,500,000
自主事業		1,500,000	体験料等 1,500,000		1,900,000	体験等経費 1,900,000
肉用牛繁殖育成施設	6,500,000	5,900,000		7,500,000	7,200,000	
指定管理業務					100,000	指定管理経費 100,000
自主事業		5,900,000	子牛販売等 5,900,000		7,100,000	肉用牛生産経費 7,100,000
田園空間博物館施設	2,700,000	2,400,000		2,700,000	2,900,000	
指定管理業務		2,400,000	指定管理料 2,350,000 施設利用料 50,000		2,900,000	指定管理経費 2,900,000
自主事業		0			0	
合計	190,000,000	213,000,000		185,500,000	210,400,000	
指定管理業務		22,088,000	指定管理料 11,516,000 施設利用料等 10,572,000		20,600,000	指定管理経費 20,600,000
自主事業		190,912,000	自主事業収入 190,912,000		189,800,000	自主事業経費 189,800,000

会 社 の 概 要

(平成25年3月31日現在)

- ① 商 号 有限会社 豊田あぐりサービス
- ② 本店所在地 山口県下関市豊田町大字八道601番地3
- ③ 設立年月日 平成5年10月20日
- ④ 出資者及び資本金
- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 下 関 市 (170口) | 8,500,000円 |
| 下関農業協同組合 (120口) | 6,000,000円 |
| 株式会社 豊田ふるさとセンター
(10口) | 500,000円 |
| 新 田 正 二 (2口) | 100,000円 |
| 吉 田 太 一 (2口) | 100,000円 |
| 上 川 正 昭 (2口) | 100,000円 |
| 資 本 金 (306口) | 15,300,000円
(1口:50,000円) |
- ⑤ 取締役及び監査役
- | | |
|-------|---------|
| 代表取締役 | 新 田 正 二 |
| 取締役 | 中 丸 徳 之 |
| 取締役 | 吉 田 太 一 |
| 取締役 | 上 川 正 昭 |
| 監査役 | 山 名 俊 也 |

⑥ 従業員の状況

区分	従業員数 (前期比増減)	平均 年 齢	平 均 勤続年数	出 向 職員数
男性	6名 (0名)	37歳	5年	0名
女性	2名 (△1名)	51歳	7年	0名
合計	8名 (△1名)	41歳	5年	0名